

33 「書誌から見た『近松門左衛門とシェイクスピア』比較研究」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第4輯、武蔵野学院大学、平成23年4月)、31-43頁

概要

「プロローグ」「1 プロット類似作品」「2 『近松とシェイクスピア』の比較」「3 比較文学から比較演劇へ」「エピローグ」の順で論じた。文献調査の段階で、これまで取り上げていなかった新しい文献「塚越芳太郎『近松門左衛門』(民友社、1894)を紹介し、その意義を明らかにした。また、坪内逍遙以前のものとして伊原青々園「近松と沙翁との同事異文」(『風雲録』春陽堂、1900)も取り上げた。近松との比較を通して比較文学から比較演劇学への発展の状況について論じた。(B5)